

法人名 NPO 法人子ども地域ネットワーク所沢

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>所沢 SecretBase 事業 ※簡潔で分かりやすい名称を付けてください。</p>
<p>種類</p>	<p>(1) SDGs 推進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2) 自立促進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ)</p>
<p>1. 事業の目的</p>	<p>所沢市の 1 つの中学校では 2017 年から 3 年連続で自殺と殺害が続きました。また、2018 年には中学校の不登校の人数の平均が 1 学年 7 名となり、このコロナ中でさらに人数が増え続け、小学校 1 年生の不登校のお子さんも増えてきました。</p> <p>「いつも休んでいるからわからない」学生になんでお友達が休んでいるのかを聞いても、気に掛けることができなくなっている学生の環境に危機感を覚える。2018 年に学生の居場所支援を行い、2020 年に不登校支援を行いながら、学校に行けている学生に対して身の回りの課題などに目を向ける取り組みをしてきました。支援の必要な児童と悩みを抱える保護者が増えてきたことで、2023 年 5 月に支援の拡充を目的として「所沢 SecretBase」を新たに設立。</p>
<p>2. 事業の内容</p>	<p>活動場所【所沢 SecretBase】</p> <p>(1) 不登校支援</p> <p>平日 9 : 00 ~ 14 : 00 (20 時まで利用可能) の時間で一人ひとりの安心できる居場所をサポートする。勉強が苦手なお子さんは「やりたいこと」を取り組みながらこの場所でのコミュニティを築いていく。</p> <p>公園で体を動かしたり、地域の企業で職場体験、野外活動でボランティアや自立に向けての社会経験で電車の乗換や買い物などの体験ができるように支援する。</p> <p>悩みを抱える保護者のネットワークを支援するため、保護者のカウンセリングを行いながら、子育てに不安を抱える保護者に子育ての知識などを学べる研修機会を提供する。</p> <p>(2) 学生の居場所</p> <p>15 : 00 ~ 20 : 00 は、小中高大学生が自由に集まって、勉強や地域活動をするための会議や準備など、学生の活動拠点を提供する。大学生が中高生の支援、中高大学生が小学生の支援を行う関係性を作るために学生支援者側を運営がサポートしていく。</p> <p>(3) 学生の活動支援</p> <p>学生が抱えている課題や、地域での取り組みでみたいことなどを「企画・実行・振り返り」ができるように、様々な知識を持っている地域住民の方と企業団体と学生を結び付けて一緒に取り組めるようにしていく。社会に出ていく前に社会経験を学べる場として運営側が繋いでいく。また、学生が失敗しても立ち直れるように運営側がサポートを行っていく。</p>

3. 実施計画

(1) (2)

①2023年4月15日「所沢 SecretBase」拠点地テナント契約

②4月29日「所沢 SecretBase」説明会・家具組み立て（学生12名／大人29名参加）

③5月14日20日「所沢 SecretBase」家具・電化製品の配置・整理

(1) 5月22日（月）9:00～12:00 不登校支援無料体験（その後も個別で無料体験を行い、6月から本格的に開始）

(2) 5月25日（木）から15:00～20:00で無料体験を実施。6月から本格的に事業実施。

(3) （高校生の取組）8月4日「進路相談会」へ向けて所沢市役所こども未来部青少年課と打ち合わせ（4月13日20日）

12月にこばと児童館にてクリスマス会。2月小中高大学生の模擬文化祭を予定
広報について、HP、Facebookと市内小中学校の全生徒へチラシの配布、学生運営でのインスタ活用。

○スケジュール

時期	
7月	「進路相談会」企画会議（所沢市・教育委員会後援） 「所沢 SecretBase 夏祭り」企画会議
8月	8月4日「進路相談会」 8月某日「所沢 SecretBase 夏祭り」「夏の勉強会」「eスポーツ大会」
9月	高校大学などの文化祭見学企画
10月	「所沢 SecretBase ハロウィン」
11月	「クリスマス会」企画会議
12月	「所沢 SecretBase クリスマス会」 「こばと児童館とコラボのクリスマス会」
1月	「Deledda 高校交流」企画会議（イタリアの学生と所沢市の学生交流）
2月	「Deledda 高校交流」（所沢市・教育委員会後援）

○広報計画

「進路相談会」市内中学校全生徒にチラシを配布（所沢市と教育委員会の後援取得済み）、HPとFacebook、インスタなどで発信・報告。

「所沢 SecretBase 夏祭り・夏の勉強会・ハロウィン・クリスマス会」内部掲示とインスタ・Facebook・HPにて案内

「こばと児童館とコラボのクリスマス会」北野小中と北中小学校へクラスポスターでの案内とこばと児童館利用者へチラシ配布。実施報告をHPなどで行う。

「Deledda 高校交流」所沢市内中高大学生とイタリアジェノヴァ市にある語学学校の Deledda 高校との交流について、学校訪問の宣伝など。報告をHP・Facebookにて行う。

「所沢 SecretBase」での日々の活動をHP・インスタ・Facebookなどで継続的に発信していく。

<p>4. 実施体制</p>	<p>①総括担当者（金丸慎一郎） ②連絡責任者・現場責任者・経理担当者（清水康平） ③広報担当者（清水康平・学生代表）</p>
<p>5. 事業の効果</p>	<p>2017 年から任意団体として活動を始めて、様々な家庭環境におけるお子さんと障害や病気のあるお子さん、希望を失ったお子さんから活動的なお子さんを小学生から 20 代半ばまでの幅広い背景と年齢の児童をみてきました。また、地域の飲食店、歯科医院、老人福祉施設等の企業から地域で活動しているサークル団体、ダンススクール等と市内の中学校から高等学校を繋ぐことで、私たちにしかできない「人と人」を繋げる役割を果たしながら新たな取り組みを挑戦してきました。その結果、大人からは「学生にこんなことができるんだ。すごい」と感じる機会を与えました。学生は「地域の大人でこんなすごい人がいるんだ。私たちのためにこんなに取り組んでくれるとは思わなくてすごく嬉しい」のような言葉を多くいただいています。この体験をもっと多くの方に身近に感じることができる地域を目指していく事で、大人社会と子ども社会の接点ができるようになり、結果、地域の活性化や学生の生きづらさの解消を担ってくれる地域コミュニティが確立されることが期待できます。実際にそのような形で「所沢 SecretBase」では多くの様々な人が集まり始めています。</p> <p>従来のサービスにはなかった「地域で人間を育む環境」と「新たな地域コミュニティ」の創生を私たちが繋げていくことで実現していきます。</p> <p>学生と教育課程の一番の課題である。「継続した支援」がここで実現できるようになり、小中高大学と地域を繋げていく事で幅広い支援の在り方を提供できるようになります。</p> <p style="text-align: center;">— 今までの実績 —</p> <p>【進路相談会】2022 年度は 8000 枚のチラシを配り 60 名の中高生が集まり、大学生のお話や中高生の座談会をメインに行いました。</p> <p>最後にドッチビー中高大学生で行い盛り上がりました。高校生が企画することで中学生の参加する敷居が低くなり、高校生のイメージがついてくると質問も自然と増えてきて、高校生から質問する関係から中学生から沢山質問できる関係性を作ることができました。</p> <p>【夏の勉強会】明治安田生命の会議室をお借りして、お金のお話や更生保護の話などを小学生、高校生、大学生で行いました。</p> <p>夏休みの宿題を大学生が教えたり、高校生は静かな空間の中で勉強を集中して行う事が出来ました。八剣伝へ依頼し昼食の提供を行うことで、みんなで食事をする事もできました。小学生とその保護者からは大変好評をいただくことができ、その後の小学生と大学生の繋がりになるきっかけとなりました。</p>





【クリスマス会】北野小学校区と北中小学校区を対象に、小手指駅周辺のお店と接点をつくるため、謎解きのフィールドワークを行いました。大学生が企画を行い、地域の企業と団体のご協力のもと、地域を回りながら学生同士の交流を行いました。「また来年も参加したい」と小学生からは大好評でした。



【Deledda 高校交流】2019年からZoom交流を行い、2022年に初めて来日で所沢市へ来てくれた Deledda 高校の生徒 8名。Zoomでは実感することができなかったイタリア人との交流。2023年度は2名の学生がイタリアへ短期留学を検討。



夏休み中に行くために調整中。今後も継続した交流を行い。2026年イタリア冬季オリンピックには日本の学生をイタリアへ連れていく。



【学生の活動支援】私たちは学生の支援を行っていくうえでたくさんの方々とのマッチングを行います。その中でお互いに刺激を受けながら新たな価値観を経験します。その中で、たくさんの方々の考え方を得ることで「生きる力」を培っていきます。それが不登校や自殺などに結びつく前に自身で解決していく力を養っていきます。所沢市職員・所沢市社会福祉協議会・企業・高校の先生・大学の教授・海外の方・地域住民など様々な方々に会議から参加していただき、学生をサポートしてきました。時には厳しいことを言われることもありますが、社会経験を通して学生たちは多くの事を学んでいきました。多くの生徒が「参加して良かった」「私たちの話をこんなに大人の方が聞いてくれるなんて」と喜びと感動を与え、実際に取り組みの当日を迎えて達成感を得ます。その中でトライ&エラーを繰り返しながら次につなげていく事を学んでいきます。



「地域で学生の生きる力を育む」が私たちの一番の強みであり、今までの実績です。昨年から、所沢市役所の子ども未来部の職員の方から高校生を招待していただき、会議を進めていく中で、藤本市長と3回面談とイタリア空軍のお祝いメッセージと一緒に撮影しました。

所沢市としても高校生との接点がなかったことで、弊社とのやり取りを続けてきています。所沢市と高校生と高校（校長・先生）を繋げていくことが出来つつあります。また、13校の高校生が所沢市へ集まり交流できていることも高校生の魅力ある活動として評価できるポイントです。



6. 今後どのように事業を継続し発展させるか

※自立促進事業のみ

不登校支援)

1回利用 1,500円 月額 20,000円

学生居場所利用)

3か月 1,000円 年間 3,000円

地域に根差した活動をしていく中で、地域の寄付を集めます。

また、2022年にクラウドファンディングで18万円の寄付を集めました。予算が足りない場合はクラウドファンディングも行っていきます。

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

法人名 NPO 法人子ども地域ネットワーク所沢

事業収支予算書

1 収入の部

項 目	予算額（円）	積算内訳
助成希望額 （千円未満切り捨て）	500,000	
自己資金	410,000	寄付金（個人） 10,000×11 件 寄付金（団体）100,000×3 件 資金不足の場合クラウドファンディングを行う
事業実施による収入等	特になし	特になし
その他		
合 計	910,000	㊤

2 支出の部

項 目	予算額（円）	積算内訳
会場費	80,000	進路相談会 所沢市民体育館 使用料 60,000 円×1 回 Deledda 高校交流 KADOKAWA 会場費 20,000 円
通信運搬費	39,000	事業報告資料 20 団体×5 回×390 円
旅費交通費	130,000	進路相談会 高校大学生 40 名 ×500 円=20,000 Deledda 高校交流 40 名× 500 円=20,000 円 スタッフ引率・運搬 各イベン ト駐車場代 5 名×9 イベント (進路相談会・夏祭り・勉強会・eスポーツ文化祭・ハロウィン・クリスマス・コラボクリスマス・フェスティバル) × 2,000 円=90,000 円
消耗品費	129,500	進路相談会（受付ボード、ブルーシート、模造紙、文具） 29,500 円 Deledda 高校交流（画用紙、布、ガムテープ、文具、他）

		100,000 円
備品費	132,000	e スポーツ(任天堂 switch40,000 円+コントローラー3000 円×4 つ 12,000 円) 52,000 スマートテレビ 50 インチ 80,000 円
委託費	42,000	進路相談会 10,000 枚 20,000 円 各イベントチラシ印刷 (300 枚) 8 イベント×1,500 円= 12,000 円 パンフレット 2000 枚 2 回×5,000 円= 10,000 円
謝金	60,000	夏の勉強会 メイク・SDGs の取組・L G B Tなどを予定。 講師謝礼金 20,000 円×3 回 =60,000 円
人件費	162,000	(1)イベント (9 イベント) 前日、当日の会場準備作業 (無報酬役員) 1 日 3,000 円×18 日×3 名= 162,000 円
その他	135,500	スポーツ安全保険 800 円×100 名=80,000 1850 円×30 名=55,500
合 計 (事業費)	910,000	㊸

収入の部の合計 (㊶) = 支出の部の合計 (㊸)